

# 当地域の景気動向

(2022年4月7日現在)

各調査機関が発表している当地域の景気動向をまとめました。

## 『最近の管内総合経済動向』（中部経済産業局）

<http://www.chubu.meti.go.jp/a51chosa/doko.html>

(3月公表要旨)

最近の管内の経済動向は、持ち直しの動きがみられる。

生産	足踏み状態となっている。
個人消費	持ち直しの動きがみられる。
設備投資	東海(愛知、岐阜、三重)・北陸(富山、石川、福井)ともに、全産業、製造業、非製造業において、前年度を上回る計画となっている。
公共投資	公共工事前払金保証請負金額が5か月ぶりに前年同月を上回った。
住宅投資	新設住宅着工戸数が10か月連続で前年同月を上回った。
輸出	名古屋税関管内の輸出通関額が3か月ぶりに前年同月を下回った。
雇用	有効求人倍率が2か月連続で上昇した。また、新規求人数が10か月連続で前年同月を上回った。
企業倒産	倒産件数が2か月ぶりに前年同月を下回った。

## 『あいち経済の動き』（愛知県）

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/toukei/0000087453.html>

(3月公表 報告書1月)

生産	鉱工業生産指数(季節調整済)は、前月比13.8%の低下
投資(住宅建設)	新設住宅の月間着工戸数は、前年比9.0%の増加
個人消費	百貨店・スーパー販売額は、前年比3.3%の増加
雇用	有効求人倍率は、1.27倍
貿易(輸出)	名目輸出額は、前年比0.8%の減少
投資(公共工事)	公共工事の月間請負金額は、前年比29.2%の増加
貿易(輸入)	名目輸入額は、前年比41.3%の増加
企業(倒産)	月間倒産件数は、前年比33.3%の減少
金融	貸出残高は、前年比2.0%の減少
物価(企業)	企業物価指数は、前年比8.6%の上昇
物価(消費者)	名古屋市消費者物価指数は、前年比0.3%上昇

## 『愛知県経済の現状と見通し』（株）三十三総研

[https://www.33bank.co.jp/33ir/research/aichi\\_keizai\\_jyousei.html](https://www.33bank.co.jp/33ir/research/aichi_keizai_jyousei.html)

(3月公表要旨)

景気の現状	～一部に弱さがみられるものの、持ち直しの動きがみられる～ 個人消費は弱い動きが続くものの、企業の生産活動や輸出が拡大するなど、県内景気は持ち直しの動きがみられる。
当面の見通し	～持ち直しが鈍化する見通し～ 新型コロナやロシアのウクライナ侵攻を背景とした国際物流網の混乱などを受け、輸出や生産を中心に持ち直しが鈍化する見通し。
個人消費	～弱い動き～ 百貨店販売額は4か月連続の前年比増加
雇用	～横ばい圏で推移～ 有効求人倍率は2か月連続の前月比上昇
住宅投資	～回復基調～ 住宅着工戸数は9か月連続の前年比増加
企業活動	～持ち直しの動き～ 鉱工業生産指数は3か月ぶりの前年比低下
企業倒産	～小康状態～ 企業倒産件数は2か月連続の前年比減少
輸出	～増加基調～ 名古屋港通関輸出金額は4か月連続の前年比増加
公共投資	～一進一退～ 公共工事請負金額は2か月連続の前年比増加

## 『東海3県の金融経済動向』（日本銀行名古屋支店）

<http://www3.boj.or.jp/nagoya/kouhyou/getsurei.html>

(4月公表要旨)

東海3県の景気は、持ち直しの動きが一服している

生産	足踏み状態となっている
輸出	足踏み状態となっている
設備投資	横ばい圏内となっている
雇用・所得	弱い動きがみられている
個人消費	飲食・宿泊サービス等で下押し圧力の強い状態にあるなか、持ち直しの動きが一服している
住宅投資	横ばい圏内となっている
公共投資	高めの水準で推移している
物価	前年を上回っている
貸出	前年を下回っている
貸出約定平均金利	引き続き低下傾向にある
預金	前年を上回っている

## 『景況レポート』（いちい信用金庫）

<http://www.shinkin.co.jp/ichii/keikyo.html>

(2022年4月発行)

今期(1～3月)の実績見込み	業種別で見ると、卸売業、建設業は改善、それ以外の業種は下降となった。
来期(4～6月)の見通し	業種別で見ると、卸売業、小売業、不動産業は下降、それ以外の業種は改善する見通しである。

## 『中小企業景況調査』（愛知県商工会連合会）

(2022年1～3月期実績、2022年4月～6月期見通し)

今期の産業全体の景況は、売上額DIが△31.2、採算DIが△43.0、資金繰りDIが△27.7となり、対前期比でそれぞれ3.8ポイント、8.3ポイント、13.0ポイント悪化した。

次期の産業全体の景況は、売上額DI、採算DI、資金繰りDIとも好転の見通しである。